

報道関係者各位

2026年3月12日

株式会社イード

(東証グロース：コード 6038)

**イード、自動車総合情報プラットフォーム「レスポンス」のビジネス会員が4万人を突破  
～OEM・サプライヤー実務者の情報基盤に**

株式会社イード（本社：東京都中野区、代表取締役：宮川 洋）が運営する自動車総合情報プラットフォーム「レスポンス」は、ビジネス会員の登録数が4万人を突破しました。



■レスポンスビジネス会員について

レスポンスビジネス会員は、自動車メーカーや大手サプライヤーをはじめとする業界中核企業の利用が拡大している法人向け情報サービスです。自動車・モビリティ分野の業界キーマンが登壇するビジネスセミナーのほか、EVのみならずSDV・ソフトウェア領域までを網羅し、現在の自動車業界に不可欠な知識を30分で効率的に習得できるリスキリング講座を提供しています。さらに、業界動向を多角的に分析した調査レポートや会員限定記事を通じて、企業の戦略立案や事業推進に必要な専門情報を継続的に提供しています。法人会員の料金は、2名・12か月で264,000円（税込）から利用可能です。

詳しくはこちらをご覧ください。

<https://response.jp/pages/info/members.html>

■ビジネス会員のための5大コンテンツ

レスポンスでは、自動車産業の最新情報に興味関心を持つ読者のために各種のコンテンツをご用意しています。

1. ビジネスセミナー

大人気のセミナーシリーズ「中西孝樹の自動車・モビリティ産業インサイト」は、毎回OEMのキーマンをゲスト講師に迎えSeason4となりました。「vol.1 デジタルカーがつくるSUBARUの未来」「vol.2 トヨタの考えるSDV－交通事故ゼロ社会を目指して」を開催しました。

その他、「中国主要自動車メーカー10社の財務分析と今後のシナリオ」「独り大喜利 どうなる!?2026年の自動車業界～本格的な体験ベース価値への移行～」 「米テスラ本社工場ギガ・テキサス訪問と最新FSD、ロボタクシー体験レポート～加速するAIロボティクスへの進化～」 「CES2026調査報告～メガトレンドの変遷と車載センサー・AIの新潮流～」 「カーボンニュートラル再設計2026：BEV一本槍の終焉と“新世界戦略マップ”～2030年に向けた処方箋～」 「SDVロードマップ2040～進化するモビリティと取るべき対応の方向性～」 「アイシンにおけるパワートレインの電動化・技術開発の今とこれから」 「「儲かるSDVサービス」の解像度：UXで攻める乗用車、TCOで稼ぐ商用車」 「LiDAR、コアセンシング技術から大規模な商業化まで～中国市場と次世代LiDARのトレンド」など、自動車業界のトピックスを取り上げ、キーマンを招いたオンラインセミナーを毎月4回以上タイムリーに開催。リアルタイム視聴のほかアーカイブでも視聴できます。



## 2. リスキング講座

EVのみならず、SDV・ソフトウェア、自動運転、バッテリー・充電インフラに関する知識、世界の主要なxEV市場、中国新エネ車市場などにも焦点を当て、今の自動車業界に必要な幅広い知識を身に付けられます。1講座約30分で、全60講座の視聴が可能です。

◆このような方におすすめです。

- ・自動車業界を目指す学生や新入社員
- ・セミナーを視聴する前に基礎講座を利用したい方
- ・EV、SDV、自動運転の基礎やビジネスを学びたい方

- ・中国の自動車ビジネスに興味・関心が高い方
  - ・eラーニングで理解度を測りたい方
- (レスポンスビジネス法人会員オプション1人あたり550円(税込)/月)

### 3. 調査レポート

自動車産業の各分野を整理・分析した調査レポートを提供。「小米(シャオミ)の自動車戦略」「ファウーウェイ自動車業界における役割と戦略的影響力」「米国におけるモビリティ市場調査～主要動向・プレイヤーおよびトランプ政権下における通商政策・環境規制～」 「インド・モビリティの市場動向」「自動車の知能化・SDV化動向」「中国・新興EVメーカー市場調査2026」など、インドや中国関連のレポートが人気です。

**Xiaomi EV (小米科技) | iid**

- 2021年にEV事業に参入、強力なエコシステムとブランド力を武器に急成長
- 2026年のEREV投入は開票圏を一気に広げ、販売台数を加速させるものと思われ、既存メーカーの脅威となる

企業情報	代表車種
<b>会社名</b> 小米汽車科技有限公司 (Xiaomi EV) <b>設立年</b> 2021年 <b>所在地</b> 北京市 海淀区 <b>代表者</b> 雷軍 (Lei Jun) <b>代表者兼最高経営責任者</b> <b>上場市場</b> 深セン証券取引所(香港証券取引所に上場 (HKG: 1810)) <b>時価総額*</b> 8,102億円 (FY25.5月末日/2025年2月末時点) <b>主要株主</b> 雷軍、フカシロック (BlackRock) など <b>売上高**</b> 438億ドル (FY25.9月/2025年) <b>販売台数</b> 414,071台 (2025年)	SU7 YU7 YU9 ・ SU7は初の小型EVで、アスファルト3秒加速(0-100km/h: 0.193秒)と高スペックを誇る。また、AIアシスタント「Xiaomi AI」を搭載し、AIによる高度な運転支援を実現している。 ・ 2025年に投入された「小米SU7 Ultra」は、SU7の進化版として、SU7の性能をさらに向上させた。また、SU7 Ultraは、SU7の性能をさらに向上させた。

\*1 USD\$1=155円2銭  
 出典: Statista, Statista, Global Vantage, 各社決算発表  
 \*\*中国 新興EVメーカー市場調査2026 | IID, Inc.

**エグゼクティブサマリー | iid**

- HuaweiはHIMA(鸿蒙智行)、Huawei Inside(HI)などを通じ、中国大手OEMと提携・協業
- トヨタ、ホンダ、日産といった日系大手OEMや、欧州のVWグループとも、様々な提携・協業を行ってきた

出典: EBCTECH, 各社公開情報  
 「ファウーウェイ」自動車業界における役割と戦略的影響力 | IID, Inc.

**時事動向 (通商政策・環境規制) | iid**

- トランプ政権下における通商政策：概要
- 2025年2月、トランプ政権は米国の製造業保護を掲げ、複雑かつ広範な関税政策を導入 (大統領令: 署名)

対象品目	中国	カナダ	EU	日本	米産品
鉄鋼・アルミ製品 (非自動車)	計70%	計50%	計50%	計50%	計50%
自動車・海運	計45%	計25%	計25%	計15%	計25%
銅	計70%	計85%	計75%	計50%	計50%
上記以外の品目	計30%	計35%	計25%	計15%	計15%

出典: 米110日大統領令(関税)の概要 (2025年2月27日発表) | IID, Inc.

**デリーモーターショー2025注目企業 | iid**

出典: モーターショー(各社提供) | IID, Inc.

### 4. ビジネス会員限定記事

国内外の自動車業界の最新報道に加え、セミナー登壇者や開発者へのインタビュー、展示会レポート、人事情報、株価などをお届けしています。



## 5. メールマガジン

毎週、オススメのビジネス記事をピックアップして紹介するほか、トヨタとテスラの最新の動きが週次でわかる「トヨタウォッチ」「テスラウォッチ」を配信。

### ■レスポンスについて

20年以上に渡って“いま”のクルマを商品・ビジネス・社会の3つの視点で立体的に捉え、さらにIT・デザイン・環境の面からも付加価値創造の手助けをすることをモットーとして、日々情報発信を続ける日本最大級の自動車総合情報プラットフォームです。国内のみならず、自動車関連のグローバルな情報を、業界の最前線からいち早く読者にお届けしています。

URL : <https://response.jp/>

#### ■本リリースに関するお問合せ :

メディア事業本部 オートモーティブ事業部 担当 : 山本

URL : [https://www.iid.co.jp/contact/media\\_contact.html?recipient=response](https://www.iid.co.jp/contact/media_contact.html?recipient=response)

広報担当

URL : [https://www.iid.co.jp/contact/pr\\_contact.html](https://www.iid.co.jp/contact/pr_contact.html)

株式会社イード 〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー17階

<https://www.iid.co.jp/>